

評論・情報

ぷちしあん

プチオンリー

予定は未定で無限大！

個人的な備忘録な、そんなまとめの本。

(Elysian11内) 予定は未定で無限大！

2009年3月1日(日) 11:00～15:00 Elysian11内にて開催

直参エントリーサークル: 10サークル

委託エントリーサークル: 1サークル

というようなぷちしあんを企画させていただきました。備忘録的な本です。

眠(みんな) / 琴似

2009.6.28 発行

http://min.lolipop.jp/106_135/

min@zx.lolipop.jp

この本について

2008年10月5日、エリシアン10ではじめての「ぶちしあん」が開催されました。

たぶん、けっこうな数の参加者さんが自分もやってみたいとか、今回のぶちの様子をみて企画するかどうか考えようとか、いろいろな思いを胸に見つめていたことと思います。私もそのひとりではありました。

イベントを主催なり幹事なりすると、うまくいったこと失敗だったこと、必ず両方ができます。それを覚えておいて別の機会に生かすなりなんなりするのはすてきなことです。なにせ今回パンフレットがありません。記憶があなたに消え去る前に、自分で反省点を覚えておくために作りました。そしてせっかくなので脳内ご開帳しました。何を本にしたっていいじゃない、同人誌だもの。ぶちしあんの主催を志す人へとか、そういう教科書のつもりはありません(そもそもジャンルがジャンルなので一般的な二次創作や創作のぶちしあんにはまったく参考にならないと思われる)。ただ、失敗したこともちゃんとかいてあるので反面教師にはなるかもしれません。

どうまとめようかいろいろかんがえた結果、PC内やネット上、いたるところに書き散らかしたメモを時系列にまとめて、そこから補足することにしました。ということでまとめのはずがまとまってないです。よっていつも以上にくださった文面、かつ「ですます」「である」もめちゃくちゃです。…ええ。よろしければお読み下さい。

そもそも、なんで思いついたのかというあたり。

●打ち上げ。馴れ初め。

エリシアン11での打ち上げのこと。イベント終わって尚、打ち上げの幹事もこなさなければならない主催さんがなんだか大変そうにみえました。私は、自分が主催またはスタッフをやったイベントの後は会場の片付けが終わったらさっさと帰って寝たい人間なのです。主催さんの心中はいかほどか、存じませんが。

エリシアンでは企画や寄稿を募集しているということだったので参加者企画の打ち上げとかどうでしょ?って話をふった、気がします。私がやるとしたらもうあれしかない。

巨大パフェ攻略。

いいじゃない、いつも居酒屋さんだし。これならお酒飲めない人も、居酒屋の雰囲気苦手な人も、未成年でも堂々と参加できます。

「主催さんが大変そうに見えた」のは確かだったのですが……この時点でもうわかっていました。打ち上げ会場とターゲットをアレに定めた時点で、スタッフ皆さまを休ませるところかスタッフ業務で疲れた身体にトドメを刺す結果になることは、うすうすどころかはっきりとわかっていました。

●ぶちしあん。

このへん記憶があいまいだったりするのですが、なんとなく評論と食べ物オンリーとどちらにするかでぶちしあん開催することは心の中で決めていたような気がします。

北海道の評論情報サークルさんはたぶんかなりの数がいるんだと思います。でも北海道で活動している評論情報サークルさんはそんなにいないのでは?それなら活動暦1年くらいの私も胸張って開催できる!

そういえば私は、プチオンリーさえ参加経験がありません。何しよう…?評論情報ぶちでできること?……よくわからないけど、どうせ二番煎じならば全部やってみよう!

ってことでとりあえずPOP。

そして配布ノベルティ。オリジナル切手とデコチョコ、切手は一応金券だから限られた人のみ配布で。

アンソロジーやプチパンフ…は、カタログのページで済ませよう。

そんな感じで妄想をふくらませていきました。

プチオンリー / ぶちしあんってなんだろう?

もともとはみんな集まろうという呼び掛け、ただそれだけだったはずですが。

調べてみたら、宣伝費用の回収に頭を悩ます主催、プチイベントの参加費をサークルから徴収するか否か迷っている(!)主催なんかもある模様です。

ぶちしあん と プチオンリー という、単語

同人誌即売会にもすべてをまとめる明確な単語がありません。同人誌即売会・同人誌交流会・同人誌展示会・同人イベント、あるいは単にイベントとだけけいたりもします。地方で開催されているにも関わらずコミケとか言ったり言われたりするこもあって混乱を招きます。鳥でも猫でも関係なく「宅急便」と呼ばれてしまうのにも似ていますね。

ぶち系イベントでこれにあたる言葉がプチオンリー。だと思っていたのですが実際のところどうなのでしょう。

少なくともエリシアン参加者でなければ「ぶちしあん」という単語は知りません。プチオンリーみたいなものと説明するのが簡単ですが、これからぶちしあんと志す人は、プチオンリーとぶちしあんとどのように定義し表記するか悩み続ける必要があります。

主催と幹事

便宜上、わかりやすいように主催と名乗っていました。しかし今回の場合は、幹事とか言いだしっぺとか代表サークルとかいったほうがしっくりきますね。

催し(Elysian)を主に企画運営しているのはproject 暁さんであり、私はそこで企画を(たまたま主催のお墨付きで)やっただけで過ぎません。プチオンリーと同じ意味の単語で「ヤドカリオンリー」という言い方がありますが、まさにそれがしっくりきます。少なくとも今回の評論情報ぶちに関しては、むしろ寄生虫オンリーでよろしい。

通常イベントとプチオンリー

ぶち系イベントの最大の特徴って、主催が何をやるわけでもないところ、だと思います(してもよいけれど)。ぶちしあんとする条件は、当日言い出しっぺが直参すること、告知サイトを作ること。だけどproject 暁さんに申請しなくて、みんなで参加しようという呼び掛けはあったってよいのです(というか、あって欲しい)。そんななかで、自分がぶちしあんとやらうと思ったきっかけや具体的な憧れを忘れないようにすることがポイントだと思います。

こんな考え方がある(あった)ようですが、通常オンリーを開く前の勉強・修行としてのぶち系イベント……は、少なくともぶちしあんにはないと感じました。必死こいて宣伝する・予算に頭を悩ます、といったイベントを開催するうえで最も大切で避けられない事項がほとんどについて回らないんですから。

また、個人でイベント開くには世知辛い世の中だからぶち系イベントを開こう、というのもぶちしあんには無い、あってはいけない考え方だと感じました。project 暁さんは企業ではないのです。

すぐく今さらで強引なまとめですが、本来、私のような者がぶちしあんに頼ってはいけないんです。最終的に目指すは自立でありイベント同士の共存です(たぶんね)。

とても個人的なぶちしあんの理想としては、Elysianの企画の一部を担当させていただく、というところですが。

そしてみんなたまには気合入れて会場借りてイベント開催しよう!私もみんなも!

…とはいえず…

project 暁さんはいろいろと親切すぎるので、おんぶにだっこにならないよう、常に緊張感と士気を保ち続けるのが大変です。今回最も苦労したところはそこかもしれません……。

告知・募集

時期

当たり前だけど、もっとも前から企画すれば前の回のエリシアンで告知ができたし、他にも告知できる機会がたくさんあったはずでした。動機が動機だったのでタイミング的に無理な話だし、一回分先延ばしにはしたくなかったので仕方ないといえは仕方なかったんです。

ぶちしあんといえど(マイナージャンルのときは特に)宣伝の場も考えて企画すべきです。直近の冬コミに参加できないという時点でいろいろ終わってましたよ。しかし友人たちのフォローで机上配布していただきました。ありがとう!

昨今の札幌は以前にくらべてイベントの数そのものが少ないです。そのぶん、逃すと宣伝の機会が減ってものすごく痛手です。

ぶちしあん告知用チラシ

今はElysian側でチラシに広告スペースをくれるので事情がかわっていると思いますが、私が刷ったチラシは最終

的に400～500枚ほどです。最初100～150枚程度を予想していたのでコピー+自宅インクジェットプリンタ刷りでしたが最終的に泣きをみたわけです…(印刷屋に頼んだほうが安かった)。

宣伝期間は4ヶ月程度、「宣伝に使えそうな札幌市内のイベントがほとんどないようしよう！」と焦ったわりには頑張っちゃったらこんな感じです。

「いつもの評論情報の人」だけにしなくなかったからです。いつもの人だけでいいのならコミケットだけで配ればいい、でもこっそり評論情報・日記・エッセイ系の本を出しているサークルさんにも参加してもらいたかったのです。そのために効率の悪い方法でも採らざるを得なかったのです。……今回のぶちしあんでも重視かつ最も達成度の低い項目なんですけどね……。

web サイト、ネット上の対応など

サイトデザイン

あれでもかなり悩み悩んだ末の産物だったりします。女性っぽさ、男性っぽさを感じさせない色。女性からも男性からも嫌われず、適度に好かれる色。

…ということでオレンジ色におちついたわけです。

リンク

ケットコムに登録するときにちょっと困りました。ふつうにプチオンリーとして登録しようとするとはじかれます。プチオンリーのチェックをしないで、コメント欄にぶち系イベントであることを書き添えるのが正しいやり方です。……と恭しく講釈たれてますが、私も最初登録できず軽くパニック起こしました。みかねた知人が登録してくれました。

……ちなみに。リンクページにいろいろなイベント告知サイトのリンクが無意味にならんでいたのははっきりいって個人的趣味です。

申し込みフォーム

ぶち主催が最低限おさえなければならないのは、参加サークルのサークル名のみです。連絡先さえ必須ではありません。

今回のぶちでは参加サークル分のポップを用意したかったので、サークル名と直参・委託区分の二点のみを必須項目にしました。

必須でない項目はごちゃごちゃとありました。メールアドレス(はともかく)、URL、発行同人誌の紹介文、本のタイトル、それに備考。カタログに頂けるぶちのページを作りたいためだったのですが、見た目も入力するほうも鬱陶しかったと思います。また直参と委託で必須項目がわかれていてわかりにくく、失敗でした。

メール

今回、何の考えもなくgooのフリーメールを適当に借りて使いましたが、送信時刻の指定できるメールサービスを使ったほうがいいです。

問い合わせメールが来て、返信文をかいたはいいいけれど、あからさまに携帯電話のメールアドレスだと深夜2時とかに送信するのは憚られます…。一般常識的な生活リズムを保てる幸せな身分だったら良いのですが、一ヶ月終電続きだと常識的な時間帯内に送信ボタンをポチッと押すのも難しくてたいへん困りました。

打ち上げの告知をするときは本当にどうしようもなくなって、しまいには個人的に借りているメールサービスで送信元偽装して一斉送信したりしました(偽装といってもちゃんと全部ヘッダみたらわかるくらいのものですけれど)。

ノベルティ類

ポップ

参加者さんごめんなさい。あれ、はっきりいってダサかった(失笑するしかない)。

プラカードケースだけは使い回しがきくと思うので！すみません！

デコチョコ

うわさのデコチョコ、単に作りたいからという理由だけで作ってみました。はじめは3種1箱45個の予定だった

のですが、作ってもらったデザインが素敵すぎて3種ふえて倍の90個になりました。

デコチョコの画像登録ですが、フォームが使いづらいです…画面の中心に絵を移動するとか、画面の縦横比にあわせて自動拡大縮小するような機能がありません。基本的にマウスでちまちまあわせるしかありません。

文字やフレームなどの種類が豊富で、プリクラの如しです。しかし同人屋でデコチョコ作成を企てるひとはたいいてい完成した一枚画像を用意した上で申込みに挑むと思われるので

特に有り難みも何もないかと思われます。

切手と違い、ショッピングカート形式のため、一度に3ケースまで注文できます。

もしこれから作ろうとしている方がいらっしゃったら、小さな文字は潰れるのを前提にしましょう。絶対潰れるだろうと実験だと思ってそのまま入稿したら、潰れました(笑うしかない)。「やれば出来る子!!」デザインの包み紙をまだもっている人は確認してみてください。バックにうっすら何かぼやぼやとしたものが見えると思います、それが文字だったものです。

おみくじ

デコチョコという企画を(未発表ではあったけども)引き下げないところまで進めてしまったときに、別の同僚催ぶちしあんでもデコチョコ配布することが判明して、あせて考えた企画がこれです(しかし思いつきが不正解だったのは参加者の方はお存知のとおり)。チョコと一緒におみくじを配布することにしました。

しかし単に大吉だの凶だのかいてあったんじゃつまらないだろうと考え

そうだ、電波に頼ろう。

と思いつくも、私の貧弱なアンテナでは20足らず受信したところでぱっきりと折れてしまいました。

頼りになるのは友人たちで「受信した電波を分け与えてください」とお願いしました(…)。こたえてくれた友人らは、100くらいの電波をくれました。……ってチョコの数より多いですよ！どんだけ協力的な電波受信アンテナですか！

無事にすべてのチョコに電波を差し込むことができました。

ボツになった電波はもったいなくてサイトに飾ってあります(笑)

オリジナル切手

こちらはサークルエントリーありがとう、ということでエントリーサークルさんにしかお渡ししていません。

切手の申し込みフォームはIEでしか動かなかったけどデコチョコよりシンプルでわかりやすく使いやすいです。縦横比をちゃんとしておけば、勝手にフィットしてくれる機能つきです。

ただ、絵柄の著作権に関して確認の電話がかかってきました。電話は家族が受けたのですが、オリジナル切手のインフォメーションは平日の9時半～17時までしか電話が繋がらないからその時間内にかけ直せと…。17時までってちょっと…仕事中ですけど…。このへん、つらいです。個人向けにもわりと宣伝しているくせに、案内仕様は完全に法人向けです。

友人に頼んで描いてもらったということ、切手のためにイチからおこした絵であること、描き手は絵が切手に使われることを了承していることを伝えたらOKでした。

印刷の質ですが、はっきり言ってかなり悪いです。お前は本当に天下の凸凹印刷かとプチキレたくなるくらいひどいです。ピンぼけたような感じになります。パキッとした絵柄には向かないかもしれません。

またフレームの種類が乏しいのが悩みです。乏しいというより、どんな絵にも似合うシンプルなフレームがないんですよ。絵柄枠大きめタイプは水色のフレーム一種しかありませんし…。

ちなみにせっくなので力の抜ける後日談。写真でフレーム切手を作ったひとに尋ねたら、著作権・肖像権の確認の電話はなかったそうです。肖像権は重視しないのかな…。

ぶちしあんエントリサークル向けセット

直参サークルさんへ

当日朝にパニック起こすだろうと思って、エントリー頂いたサークルさんに挨拶しそこねるような予感がして前日までにお手紙を用意しました。

デコチョコ1種ずつと、目印(ポップ)と、オリジナル切手と、それからお手紙。テキストに買った紙袋でラッピングしました。…したらなんか半月遅れのバレンタインチョコチックな雰囲気になってしまいました(しかもチー

プ)。朝、到着済みのサークルさんには挨拶と一緒に、到着していないサークルさんは机に置かせていただきました。実際、挨拶の間なく早々に帰ってしまわれたサークルさんがいたのでお手紙にしてよかったのかな、と思います。

委託参加サークルさんへ

無駄にこだわり炸裂させたところでは。

Elysian 側の委託参加を利用すると、ぶちしあん参加サークルだとわかりにくいのが悩みです。

Elysian の委託は、参加者が記入用紙に値段やタイトルを書いて委託物と一緒に送ると、project 暁さん側で Elysian 独自フォーマットの値札をつくってくれるというシステムになっています。これなら参加サークルが丹精こめてこさえた値札を汚すこともありませんので、その値札に無限大マーク (∞) のついたシールを貼らせて頂きました。

ぶちしあん間の連携

ヘタリア男女カップルぶちしあんの代表さんとは、開催前に別のイベントでたまたまお会いしたときにちよろつとご挨拶したのですが (本当にちよつと)、できる限り同時開催のぶちしあんは連絡をとりあったほうがいいかもしれません。

あの広くない会場で配布系の企画が被ると泣くしかないです……デコチョコという企画だけでなく、おみくじという部分までかぶってしまうなんて…… (しかも本部サークルの配置がほぼお向かいさん同士でした)。ネタ被りじゃなくて、これはもう、相思相愛だと思いにしました。いやもう。なんていったらいいのか。

また連絡をとりあったり仲良くしたりすることで、また別のすてきな企画がうまれるんじゃないかな、とちらつと考えました。どうせならばお互いを食い合うより相互効果があったほうがすてきです。即興で思いついたのは、二次創作同士であればお互いのジャンルのキャラを登場させた一本の注意書き漫画が何かを作ってカタログに掲載してもらうとかいかがでしょう。思いっただけで検討してないのでどうでしょうね。

打ち上げ。アイスクリームタワー 8 万円

すごく個人的なことですが、実は初めてあのタワーに挑戦したのが、Elysian 初回の 1 週間後くらいでした。2005 年の秋です。(当時はまだ 6 万円でした。あれから 2 万円も値上がるなんて) 当時も身内の同人仲間と挑戦したのですが、そのときは参加者 28 名でした (一応完食)。それが今回、50 人であれを囲めるなんて、Elysian 効果ってすごいなと思いました…今回の参加者集めは完全に Elysian の人気にのっかってます。

さて、変なことをすると変な人が集まります、類は友を呼ぶ、大自然の摂理なので仕方ありません。「時間の都合で Elysian は参加できないけど、打ち上げだけは絶対行きます！」とか……。いや、あのね……打ち上げなんですつてば……。何か面白おかしいことやらかす方はご注意あれ。

「〇月〇日までに●●人集まらなかったら中止」なんて告知していましたが、内心はたぶん集まるだろうと思っていました。万々集まらなかったらドリームジャンボパフェ (1 万円) という逃げ道もありましたし。

しかしフタをあけてみると、

あれ？

50 人？

……って小規模オンリーイベントくらいの人数じゃないですか?! そこまで考えていなかったため軽くおのきあわてて友人たちに声かけしました。内容は「50 人も連れ立って雪印パーラーまで歩くと、遅れたり列から外れてしまったりする人がでてくるはずなので『各々の判断でテキトーに』フォロー頼む」という大ざっぱでいい加減な一言のみです。しかしそれでも先発隊として注文役をかつくれたり、それとなく先頭きつてくれたり、列を整えてくれたりという気を使いまくってくれました (そしてかなり頑張って食べてくれました…)。世の中には優秀なリーダーと見るに見かねた周囲の協力でなりたってるリーダーがいますが、私は残念ながら後者です。私の友人らは気が利いて恩着せがましくないいいやつばかりだぞー！いいだろう！とこんなところで友人自慢しても仕方ありませんけれど。

ともあれ、協力者さんたち、打ち上げ参加者の方々、とつてもつてもお疲れ様でした。ありがとうございました。完食できないという後味の悪い結果にならなくて本当によかったです、みんなありがとうございました！

とつてもつても個人的反省。

もう何年も前の話ですけれど (その頃にはプチオンリーなんて単語もまだありませんでしたけど)、生まれてはじめて同人イベントを主催したとき「なんでもかんでも一人でやりすぎはよくない。人に頼むのが下手なのはよくないことだ」と怒られたことあるんです。

今回は人の好意に甘えてみた催しだったと思います。使うイラストも、おみくじの電波も (笑)、チラシ配布などの宣伝も、打ち上げに關してもそうです。私の思いつきを述べて、それに意見や感想をもらって参考にしたりもしました。

友人のありがたみをいっぱい感じました。とめるとなんだか小学生の作文みたいなんですけれど。お金とか契約・規約の責任が軽いために (主催さんに比べたら無いに等しい)、いろんなこと感じられる余裕があったように感じます。

イベントの進め方にしろ人の使い方 (というところとちよつと嫌な響きですけれど) なんにしろ、余裕があるぶん実験がききます。ヘタリアぶちしあんみたいにイベントの宣伝の場所を兼ねちゃうとか (結果そうなっただけかもしれませんが)、私自身もヨソサマの打ち上げジャックしちゃうとかナニサマなことやらかしましたけれど、きつと、もつともつとぶちしあんで楽しい企画が作れるんじゃないかと思えます。

……ぶちしあんの開催を推奨するわけじゃないのですが……楽しかったし、勉強になりました。project 暁さん、協力してくれた友人たち、Elysian の参加者の方々、本当にありがとうございました。

最後にこれだけは主張したい

「札幌で評論情報オンリー? サークル一桁集まればいいんじゃない?」とかいう声もあったと聞きました…。誰かそのひとに伝えてください。

(ギリギリだけど) 2 桁集まってくれたんだぜ! 札幌ナメンだよ!

長いおまけ。日記的メモ。

● 10 月 15 日

ぶちに向けて本格的 (?) に準備をはじめます。

参加条件をかなり特殊にしてしまったので、それを文章化することで手こずります。

ぶちしあんがなんたるものか、は他家エリシアンサイトでも書かれているけどこつちでも一応書いた方がいいのかな……。とずらずら説明書きを考えるとなんだかくどくなって困る。

● 10 月 18 日

10 月 12 日に評論情報オンリー同人イベントが開催されたことを知りました。…わずかに一週間前に!

あと数週間はやくアンテナをはっていたら! ぼけーと準備していた自分をぶん殴りたい。

個人的に興味もあるし、参加できれば告知の機会にもなったのに。でも過ぎてしまったことはどうしようもないのでいそいそと準備に戻ります…。

● 10 月 18 日その 2

今後のイベント予定を整理して、……告知ができそうなイベントがほとんどないことに気がついて青くなりました。12 月のおでかけライブはいけいない、1 月のも無理そうだし、2 月じゃもうエリシアン本体のメ切あとだからあまり意味がない。11 月に創作オンリーがあるからとりあえずそれに間に合わせてピラ作らないと! 宣伝効果とかもう気にしてられるような贅沢な状況じゃない。

続いて気になっていたイベントにがしがしと申し込みました。委託ついでにチラシおいてくださいスミマセン作戦 (作戦という程のものじゃない)。「こいつ配布チラシがあるときだけ申し込んできやがる」と思われているかもしれない、いや確かにそれも事実だけど気になっていたイベントに委託参加ってけっこう大きなキッカケがないと踏み出せないものなのですよ (私は)。気になっていたイベントに参加できてちよつとスッキリしました。

●10月19日

web 仮デザインのコメントをもらうために身内に公開しました。本当に軽い気持ちで「目立つ色、よし、赤だ！」と赤色基調にしたのですが、身内から「赤は女性のイメージがある」と言われ…。そういえばあのトイレもマークが誕生したのっていつ頃なんだろう…いやトイレに限った話ではないんですが、ちょっと手を入れて赤メインでなくする方向に。

『予定は未定で無限大!』という仮タイトルがこのあたりで決まります。横文字にしたくなかったのと、「予定は未定」って単語を入れたかったんです、一昔前にペーパーやらなんやらでたくさん見かけた単語です。今でも見るのかな? 20世紀の同人感漂うだっさいタイトルにしたのです。本当にださかったのでもで変えようと思っていたのですが妙案が出ず結局そのままになりました。

●10月23日

数時間でさっくり色彩チェンジするつもりがかなり悩みました。結局「食欲を促進される色」という理由でオレンジ系になりました(もはや何オンリーなんだか…)。でも食料・飲料は評論情報ジャンルを構成する大きな柱のひとつであることには間違いないはずです。

●11月2日

イベント告知用チラシを作り始めます。

よし、だいたいの文字の配置は終わった!と一枚テストプリントして我に返る。「あれ…イベント名入れてない」もう評論情報ぶちでいいじゃない、と思いながらイベント名の場所を少しだけこしらえて押し入れました。

せいぜい100枚くらの配布で終わるかなと思っていたのでインクジェットプリンタなチラシだったのですがあとでざっと計算してみたら300~400枚は刷っていることが判明しました。…これなら業者に頼んだほうが安かった…。

●11月2日その2

雪印パーラーへ電話。30~40人程度、アイスクリームタワー1個をお願いしますと伝えました。すると「禁煙席と喫煙席、どちらにしますか?」と予期しなかった質問。…え、え? ちょっと戸惑いながら個人的好みで禁煙をお願いしました。同人的な場では禁煙のことって多いし、納得して頂けるだろう。何よりせつかく今回は居酒屋さんじゃないんだ、禁煙でいいじゃないか。…打ち上げにほぼ確実にいらっしゃるであろう喫煙者の顔がひとり浮かんだけど、見なかったことに。

●11月3日

仕事のほうがかなり忙しくなって死亡フラグもいところな状況。比喻でもなんでもなく毎日終電、週一日の休日ばかりで。……ぶちの準備をきちんとどうこう以前に年明けまで生き延びなければぶち開催が完全に駄目になってしまう!

最終的にこれは年が終わるまで(というか明けるまで)続きました。「最近忙しくてさ、ここ1週間終電だよ参っちゃうよ」っていうのならわかるけど「最近忙しくてさ、ここ一ヶ月終電続きだよ参っちゃうよ」ってちょっとあんまりです。

●11月5日

サイトもようやくかたちになって、実際のサーバーにアップして(といってもいつも使ってるところの間借り)、言い回しやリンク切れ等、友人知人におかしいところを指摘していただきました。ひとりやってると脳みそが腐ってくるから助かります。

今回使ったディレクトリ名とグーメールのID、わかる人にはたぶんわかりましたよね?

●11月12日

某巨大掲示板(…っていう言い方もそろそろどうよとは思うが)で、「打ち上げでアイスクリームタワーとか面白いんじゃない?」みたいな書き込みを発見。(過去ログ紛失により細部は思い出せない)

だだだ誰だー! 内部犯行か? まったく関係ない人の偶然か? こっちが書き込みを見て企画したように見えるのがシャクに触る。

しかし予約してしまった以上は引き下がれないのでそのまま続行…かなりくやしくて家の床のうえでゴロゴロジタバタしてた覚えがあります……。

●11月14日

さてそろそろチェックもだいたい済んだし頃か、と project 暁さんへ正式にぶちしあん申請。しかしまだまだバナーもない突貫工事状態。

●11月22日

遅れて、協力を得てなんとかバナーアップ。

●11月23日

バナーも完了、さて様々なイベント情報系サイトへ登録を—と思ったのだけでもケットコムへ登録しようとする。「会場名が入力されていません」と言われてハネられてしまいます。ちゃんと入力しているよね? もう一度—とータル5回くらいチャレンジしたけど登録できませんでした。何で一。

●11月30日

TCG(苦小牧コミックギャラリー)さんに宣伝をさせてもらいに行ってきました。各主催と友人らで集まっていつてきました(ちょっとした速足な感じです)。

札幌人からするととても元気のあるイベントのように見えますが苦小牧的にはサークルさんたちが減ってしまってさびしい状況なんですって…ええ、これで? こんなに元気なのに?

TCGさんが60回目をもってイベント終了というショッキングな発表もありましたが元気をもらってかえってきましたよ。

●12月3日

「ぶちしあんをケットコムに登録していい?(してあげるよ?)」というご連絡を頂きました。やり方わからない馬鹿なので是非お願いします、と救いの手によりケットコムへの登録は完了。

あとから聞いた話です。プチオンリーの開催イベントとして有名どころでない「プチオンリー」のチェック入るとかあってエラー出ちゃうそう。シティとかでないプチオンリーの場合は一言メッセージに補足を添えて送信するのが正しいみたいです。つまり手作業なのですね。

●12月12日

ぶちしあんに1サークルめのエントリーを頂きました! とりあえず…ひとりじゃなかったー!!!!

●12月14日

数日前に初エントリーがきてあれだけ喜んだのにもかかわらず、悪夢を見ました。

何の準備もないままエリシアン11の日を迎え大騒動がいまくり、当日集ってみたら打ち上げ参加者が事前登録の半数しかいなかった、そんな夢でした。

●12月15日

1月のおでかけライブに行ける見込みができたので申し込みました。「ポツと出の主催じゃないんだよ、ちゃんと評論情報の本出してるとだよ!」というアピールをしたかったのです。

ライブの申込書のジャンルに丸するところに『評論』がちゃんとあったのにびっくりしました。ここに丸をつける需要がどれだけあるのかわかりませんが。

●1月7日

切手のデコチョコの仕様が定まったので、かねてからイラストを描いてくれる約束だった方へ正式に依頼。

●1月10日

同時開催される別のぶちしあんでデコチョコ配布が企画されていることをwebで知る…

え…もうイラスト依頼しちゃったよ…。

●1月11日

一日考えた結果、おみくじつけて配布することに決定しました。これがとんでもない間違いだったなんて、知らなかった。

●1月24日

ぶちしあん側についても、打ち上げ側についてもいろいろとメールをもらいます。

手動スパムみたいなのから『サークル直参申し込みが受かったら』打ち上げ参加します、という不安げなまでのまで。私もし遠方住まいだったら、サークル落ちたから一般で参加しよう…とはなりにくい。直参できるからこそ時間とお金をかけて現地に赴きたいわけです。難しいね。

ぶち主催やってなければ、私のサークルなんて落として他のやる気あるサークルさんを受からせてと進言したかもしれないけど。

●2月2日

ぶち申込んでくれたサークルさんで落ちちゃったひとは、私のスペースで救済かな。とはいえ私も減スペース対象なので、1サークル1種までがギリギリかな…。

●2月6日

おみくじ用電波大募集。友人に電波をもとめたところ、必要量をはるかにこえた量を受信。みんな大好き。

●2月7日

主催さんよりサークルリストがエクセル形式で届く。オフィスなんて高価なソフト入れてない貧乏人なのであわててオフィスビューアをダウンロード。なんだかんだで読めるのが強いオフィス。

そしてぶちエントリーサークルは全サークル参加決定。ありがとう主催様。

●02月09日

宅配搬入を真剣に考える。胃薬・塩・カイロ・タワー参加者名簿。いつもと違った荷物が増えるわけだが…他なんかあるだろうか？

●2月10日

パソコンがいきなり落ちて再起動かかる現象が頻発。やなかんじーやなかんじー！

そういえばあのときもこのときも、主催イベント前はPCの不調に見舞われることが多かった。いつかはイベント数日前にPC完全にだめになって新しいの買って、届いたのはイベント前日の夕方、そこからPOP制作…ということもありました。あああれだけはもういや。

●2月13日

タワー打ち上げ開催決定。

40人集まったら瞬殺すぎてつまらないよね、という話を友人らにふったところ

- ・雪印巨大パフェオールスター
- ・ツインタワー（！！）

という案をいただきました。で、前者を採択してしまったわけですが。

●2月23日

しばらく仕事で動けなくて焦りに焦り。おみくじとかなんとか色々つくっているうち、PCが不調。ウイルススキャンしようと思うと突然落ち、エラーチェックしようと思うと突然落ち、再起動中にも突然落ち、回復を試みるも何も作業が完了しないまま落ちる、という状況に。

●2月24日

結局リカバリかけて復旧…。アドビ製品一式インストールしなおし、フォントも入ってない、カスタムブラシだのなんだのも全部初期状態。完全に動かない状況でないだけましか…となんとかごり押し。

●2月25日

おみくじ完成。

●2月27日

友人らに「打ち上げのフォローお願い！」と連絡。

●2月28日

ポップ完成……しかし悩みぬいた挙句にダサイ……最悪だ……。

●2月28日その2

Elysian ばかりに頼ってちゃいかんと奮起したあれこれの準備のヤマがぶち準備と重なってヒーヒーいってました。

そこでアタマがおかしくなったのか……↓

●2009年2月29日(?)

サイトを見るとこの日に更新したかになってます。私はどこにいたんでしょうか。

●3月1日以降

アイスクリームタワーの苦情とかもらってないけど皆さま大丈夫だったんでしょうか、色々な意味で。